

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/16	40996	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子 人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血液	①②⑤⑥日本、③④米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS,FDA,CBER,BLOOD PRODUCTS ADVISORY COMMITTEE/July 23,2004,Transcript.6-28	2004/7/23に米国で開催された血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERのDr. Nakahashiは「Update on West Nile Virus」と題するプレゼンテーションの中でウエストナイルウイルスに関するの供血停止期間を現在の発症後28日から56日に延長する考えであることを公表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルト会社のDet Norske Veritas (DNV)がvCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/2に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国滞在レキのないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレシピエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrP ^{Sc} のタイプに分類したサベイランスを行うことによって、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrP ^{Sc} タイプや特定のPrP ^{Sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルバルボウィルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルバルボウィルスに対する抗体陽性のマカクサルのコロニーの取り扱い者の血清サンプルについてサルバルボウィルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトサルバルボウィルスB19ベースのELISAではサルバルボウィルスはヒトの骨髄単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルバルボウィルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Neuroscience 24(50),1280-11290,2005	プロテアーゼ抵抗性ヒトプリオン蛋白とフェリチンが小腸上皮細胞より一緒に輸送される。sCJDの脳ホモジネートを消化酵素処理するとプリオン病の伝播および病原性を示すプロテイナーゼK抵抗性の異常プリオン蛋白のコア成分と類似性のフラグメントが生じる。正常プリオン蛋白の発現量にかかわらず、DE処理によりヒト腸管上皮細胞バリアのインビトロモデルを通り抜ける異常プリオンたんぱく質複合体が形成された。予想に反し、異常プリオン蛋白質はDE処理した異常プリオン蛋白複合体の主要蛋白成分であるフェリチンと一緒に輸送された。異常プリオン蛋白とフェリチンの輸送は低温度に感受性があり、過剰の有利フェリチンにより疎外されることから、レセプターおよびトランスポーターによる仲介経路が存在するものと思われる。異常プリオンたんぱく質に会合するたんぱく質、特にフェリチンは遠い動物種でもその腸管からのPrP ^{Sc} の取り込みを容易なものとし、それによって人はキャリアーの状態をもたらす可能性があることが示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	AABB WEKLY REPORT,10(44)3.2004	米国血液銀行協会は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルスの流行に暴露された可能性のある供血者の取り扱いについて、HAVに暴露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。
2005/03/16	40997	株式会社ベネクス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364. 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS,FDA,CBER,BLOOD PRODUCTS ADVISORY COMMITTEE/July 23,2004,Transcript,6-28	2004/7/23に米国で開催された血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERのDr. Nakahashiは「Update on West Nile Virus」と題するプレゼンテーションの中でウエストナイルウイルスに関しての供血停止期間を現在の発症後28日から56日に延長する考えであることを公表した。
											vCJD	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルト会社のDet Norske Veritas(DNV)がvCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/2に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国潜在レキのないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレビエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrP ^{sc} のタイプに分類したザベイランスを行うことによって、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrP ^{sc} タイプや特定のPrP ^{sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルバルボウィルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルバルボウィルスに対する抗体陽性のマカクサルのコロニーの取り扱い者の血清サンプルについてサルバルボウィルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトサルバルボウィルスB19ベースのELISAではサルバルボウィルスはヒトの骨髄単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルバルボウィルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Neuroscience 24(50),1280-11290,2005	プロテアーゼ抵抗性ヒトプリオン蛋白とフェリチンが小腸上皮細胞より一緒に輸送される。sCJDの脳ホモジネートを消化酵素処理をするとプリオン病の伝播および病原性を示すプロテイナーゼK抵抗性の異常プリオン蛋白のコア成分と類似性のフラグメントが生じる。正常プリオン蛋白の発現量にかかわらず、DE処理によりヒト腸管上皮細胞バリアのインビトロモデルを通り抜ける異常プリオンたんぱく質複合体が形成された。予想に反し、異常プリオン蛋白質はDE処理した異常プリオン蛋白複合体の主要蛋白成分であるフェリチンと一緒に輸送された。異常プリオン蛋白とフェリチンの輸送は低温度に感受性があり、過剰の有利フェリチンにより疎外されることから、レセプターおよびトランスポーターによる仲介経路が存在するものと思われる。異常プリオンたんぱく質に会合するたんぱく質、特にフェリチンは遠い動物種でもその長官からのPrP ^{sc} の取り込みを容易なものとし、それによって人はキャリアーの状態をもたらす可能性があることが示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	AABB WEKLY REPORT,10(44)3.2004	米国血液銀行協会は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルスの流行に暴露された可能性のある供血者の取り扱いについて、HAVIに暴露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。
2005/03/18	40998	株式会社ベネイス	ポリエチレングリコール処理	人免疫グロブリンG	人血液	①日本、②③米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet,2004,364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコード129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS,FDA,CBER,BLOOD PRODUCTS ADVISORY COMMITTEE/July 23,2004,Transcript,6-28	2004/7/23に米国で開催された血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERのDr. Nakahashiは「Update on West Nile Virus」と題するプレゼンテーションの中でウエストナイルウイルスに関しての供血停止期間を現在の発症後28日から56日に延長する考えであることを公表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルト会社のDet Norske Veritas (DNV)がvCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/21に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国滞在していないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレビエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrP ^{Sc} のタイプに分類したサベイランスを行うことによって、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrP ^{Sc} タイプや特定のPrP ^{Sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルバルボウィルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルバルボウィルスに対する抗体陽性のマカクサルのコロニーの取り扱いは者の血清サンプルについてサルバルボウィルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトサルボウィルスB19ベースのELISAではサルバルボウィルスはヒトの骨髄単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルバルボウィルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Neuroscience 24(50),1280-11290,2005	プロテアーゼ抵抗性ヒトプリオン蛋白とフェリチンが小腸上皮細胞より一緒に輸送される。sCJDの脳ホモジネートを消化酵素処理をするとプリオン病の伝播および病原性を示すプロテイナーゼK抵抗性の異常プリオン蛋白のコア成分と類似性のフラグメントが生じる。正常プリオン蛋白の発現量にかかわらず、DE処理によりヒト腸管上皮細胞バリアのインビトロモデルを通り抜ける異常プリオンたんぱく質複合体が形成された。予想に反し、異常プリオン蛋白質はDE処理した異常プリオン蛋白複合体の主要蛋白成分であるフェリチンと一緒に輸送された。異常プリオン蛋白とフェリチンの輸送は低温度に感受性があり、過剰の有利フェリチンにより疎外されることから、レセプターおよびトランスポーターによる仲介経路が存在するものと思われる。異常プリオンたんぱく質に会合するたんぱく質、特にフェリチンは速い動物種でもその長官からのPrP ^{Sc} の取り込みを容易なものとし、それによって人はキャリアーの状態をもたらす可能性があることが示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	AABB WEKLY REPORT,10(44)3.2004	米国血液銀行協会は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルスの流行に暴露された可能性のある供血者の取り扱いについて、HAVに暴露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。
2005/03/17	40999	日本シェーリング株式会社	インターフェロンベータ-1b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 14(39)2004/9/23	英国の血漿ドナー9例がvCJDを発症したことがわかっている関連のある血液製剤からのvCJD感染のリスクは不明であるが、CJD Incidents PanelはCJD伝播の可能性のある事例の管理に関するアドバイスを提示し、血液製剤からのvCJDのリスク管理に関する勧告を発表した。
											インフルエンザ	WHO Communicable Disease Surveillance & Response2004/9/28	タイの公衆衛生省が鳥インフルエンザの家族内での感染を確認した。これまでの情報からは家族内での感染は確認されているが、市中への広域な伝播は発生していない。
											HIV	Dvox Sanguinis 86,171-177(2004)	米国血液銀行では、血液製剤の検体を混合して行う、ミニプールNATが導入されているしかし検体のHIV-RNA濃度が低いため検出できず、輸血によりHIV感染がおこった。単一の検体でNATを行えば、このようなすり抜けは起こらなかった可能性があるが、費用の面でクリアすべき事柄が多い。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	RIVM report 630940004(2004)	オランダにおける鳥インフルエンザ NA/H7N7型流行に関して、感染家畜に暴露した人の少なくとも50%が抗H7特異的抗体を保有していたことから、少なくとも1000人に感染したことが予想された。感染された人と家庭内で密接な接触があった人の抗H7特異的抗体の陽性率は59%であったため、大きな規模で感染が発生することが示唆された。
											コロナウイルス感染	厚生労働省検査所海外感染症情報/詳しい情報 2005/1/20	エール大学の研究チームが発見したコロナウイルスについて、5歳以下の患児を検査すると9%が保有していた。また川崎病患者からも高頻度で保有が認められた。コロナウイルスは診断同定の検査法が最近までなかった。
2005/03/17	41000	清水製薬株式会社	バルナバリンナトリウム注射液	バルナバリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有り	無し	無し	A型インフルエンザ	IDWR 2004 34週	アジアでの鳥インフルエンザの伝播と、インフルエンザウィルスの種差の壁をこえて感染することから、ブタに鳥インフルエンザが感染するのは予測できる。実際に中国ではこのことが発表された。
											E型肝炎	IDWR 2004 47週	E型肝炎は経口感染し従来から水系感染しときに劇症化すると考えられており、インド、中央アジア、メキシコ、北アフリカ、中国ではアウトブレイクが起きている。これに国内での発生動向みると、2002年から2003年にかけては急激な感染の増加が起きているが渡航歴のない感染者がふえており、国内においてブタ、シカ、イノシシなどを接触する際は注意が必要である。
2005/03/17	41001	東和薬品株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの気管抽出物	アメリカ	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.384、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531.Gregori L et al.	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでプリオン病の感染が防止できるかなにかについて検討した。ヒツジのスクレイピーを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
2005/03/17	41002	伊藤ライフサイエンス株式会社	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20)	中国当局が初めてトリインフルエンザA型(H5N1)をブタで発見した。それに対するWHOとFAOからのコメント。
											コレラ	ProMED, 20040917-0010	西子モールでニワトリがニューカッスル病により、ブタが豚コレラの疑いで大量に死亡した。イタリアで炭疽菌が分離され、ブタ症例が確認された。
											炭疽	ProMED, 20041010-0010	西子モールでニワトリがニューカッスル病により、ブタが豚コレラの疑いで大量に死亡した。イタリアで炭疽菌が分離され、ブタ症例が確認された。
											E型肝炎	厚生労働省Hp	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染した。十分加熱していなかったのが原因と考えられる。
											口蹄疫	ProMED, 20050123-0080	フィリピンで9年ぶりに口蹄疫の発生がなかった。
											不明	ProMED, 20050130-0010	マレーシアにおけるブタの大量死の原因がバニウィルスやブタコレラではなかった。
											不明	ProMED, 20050216-0410	インドにおいてブタが大量死した。
2005/03/17	41003	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病治療血清 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41004	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュージーランド	添加物	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/17	41005	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	肉	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41006	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41007	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	ハートエキス	クジラ心臓	補鯨国:日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41008	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートインフージョン ンブイオン	ウシ乳・心臓		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41009	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートインフージョ ンアガー	ウシ乳・心臓		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41010	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド ウイルス治療血清 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	ポリペプトン	ウシ乳	中国・ニュー ジーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/17	41011	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシ乳	アメリカ	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41012	財団法人化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア・ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41013	財団法人化学及血清療法研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	ニワトリ発育鶏卵	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41014	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/17	41015	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶ毒	ハブ毒素	日本	原材料	無し	無し	無し			
2005/03/17	41016	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむし毒	マムシ毒素	日本	原材料	無し	無し	無し			
2005/03/17	41017	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素“化血研”	まむしウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/17	41018	財団法人化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	血液	モルモット血液		製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41019	財団法人化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	肝臓	モルモット肝臓		製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41020	財団法人化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	血清	ウサギ血液		製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/18	41021	日本ビーシージー製造株式会社	精製ツベルクリン	乳糖	ウシ乳	オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine,10(6), 591-593, 2004 June	フランスの研究グループによると、スクレイビーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンたんぱくが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Preventive Veterinary Medicine 83, 135-149, 2004	BSE感染牛から作られた牛脂を用いた牛乳代用品を、生後7週間子牛に与えた。汚染された牛乳代用品の許容純度と脊髄のBSE感染物質が関係している可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2004, 85, 3159-3163	BSEを経口摂取したヒツジから子羊が母子感染する頻度は臨床的にBSE感染したヒツジからの母子感染より頻度は低いことが示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of comparative Pathology, 2005: 59-69	実験的にBSEを感染させたヒツジは症状発現前の扁桃腺バイオプシーサンプルにPrP ^{sc} が検出される可能性が示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/18	41022	日本ビーシー ジー製造株式 社	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											インフルエンザ	Veterinary record, 2004, 30, OCT	タイの動物園で死んだニワトリを餌としてトラに与えていた。トラへのHPAIの感染の可能性が考えられ、30頭が死亡し25頭がさらに感染した。とOIEが報告した。
											インフルエンザ	Veterinary record, 2004, 31, OCT	タイの動物園で死んだニワトリを餌としてトラに与えていた。これによってトラへのHPAIの感染の可能性が考えられ、30頭が死亡し26頭がさらに感染した。
											インフルエンザ	The Lancet, infection diseases (4)DEC 2004	タイの動物園で死んだニワトリを餌としてトラに与えていた。これによってトラ102頭への鳥インフルエンザ感染の可能性が考えられた。
											インフルエンザ	Science, 306,5 NOV 2004	世界的に大流行の脅威を増加させてH5N1インフルエンザウイルスは2003年より2004年の方が環境中でより長く生息でき、このときアヒルが関連していると考えられた。
											インフルエンザ	Veterinary record, 2004, 27, NOV	世界的に大流行の脅威を増加させてH5N1インフルエンザウイルスの増殖にはアヒルが関連していると考えられた。
2005/03/23	41023	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌莢膜ポリ サッカライド	肺炎球菌莢 膜	米国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/23	41024	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	リボヌクレアーゼ	ウシ脾臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41025	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	デオキシリボヌク レアーゼ	ウシ脾臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41026	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国、オース トラリア、 ニュージーラ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41027	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	トリプシン	ウシ脾臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41028	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	ハートインフュー ジョンブロス	ウシ心臓、ウシ 骨格筋、ウシ 脂肪組織、ウ シ骨髄、ウシ結 合組織	米国、カナ ダ、オースト リア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41029	萬有製薬株式 社	肺炎球菌ワクチン	ウサギ脱線維血 液	ウサギ血液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41030	社団法人北里研 究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻疹ワクチン	ウシ胎児血清、新 生仔牛血清	ウシ血液	①③ニュー ジーランド、② ニュージーラ ンド、オースト ラリア	製造工程	有り	無し	無し	人獣共通感染症	平成16年度第二回薬事食 品衛生審議会医薬品等安 全対策部会資料	国内水痘ワクチンより、原料であるウシ 胎児血清に由来するうしポリオマウィ ルスの遺伝子断片が検出されたことが 明らかになった。感染研はこの断片の PCR検査を暫定的な感染の判断基準と することとした。